



今だから・・・「アクティブシンキング&アクティブワード」は魔法のことば

教頭

令和5年度のスタートから一か月。学習や係、当番活動にしっかり取り組み、素晴らしいスタートダッシュです。

ゴールデンウィークをひかえ、家族で過ごす時間が増えます。これまでのリズムを維持、さらに良くするために、「積極的な考え・積極的なことば」を意識したいです。学習でも遊びでも「むずかしい」、「習ってないからできない」と思うのではなく、「どうすればよいのだろう」、「〇〇を調べれば、できるかな」など、今、目の前にある課題を解決するために『何ができるのか』、『どんな方法があるのか』等、解決するための試行錯誤を楽しめるようになると良いと考えます。解決できないときは、ちがう方法を試してチャレンジし、充実感や達成感を味わってもらいたいです。

ウィンブルドンテニス大会5連覇を果たしたビヨンボルク選手は、『うまくいっている時は問題ない。でも、いつもうまくいくとは限らない。「私はできる、私は勝てる」といつも思っている。思うことは、いつでもできることだからね。』と。

思うことは、いつでもでき、だれにも邪魔されません。良い方向に「思う」積極的な考え方が良い結果に繋がるのではないのでしょうか。しかし、私たちは、この誰にでもできる「思うこと」を自分にとって不利益な方向へ使っていることがあります。「私にはできないんじゃないか」「とても、無理だよ」など否定的で消極的な考え方をすることがあります。そんな時、コーチや監督、チームメイト、兄弟姉妹など身近な人が積極的な考え方になれるような言葉かけをすることで最高のパフォーマンスを発揮することができます。

自分で気づいて「思うこと」もありますが、人の言葉によっても変わり、また、他の人を変えることもできると思います。お互いが積極的で肯定的な言葉を使うことで、積極的な考え方に早く切り替えることができるのではないのでしょうか。

だからこそ、「今だから」積極的な考え方やことばで「今できること。」を考え、過ごしてほしいです。また、『子どもが育つ魔法の言葉』を意識していきたいです。

【参考】『子どもが育つ魔法の言葉』

- 励ましてあげれば、子どもは、自信をもつようになる
- 広い心で接すれば、キレる子にはならない
- 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
- 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
- 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
- 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
- やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

(『子どもが育つ魔法の言葉』

ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス著 石井千春訳) 抜粋

